

キラリ!サステナビリティ活動

Challenge for SDGs!



社員が「自然資本」について学び、普及啓発を推進しています!

三井住友トラスト・グループは2020年12月、自然資本の取り組みに関する情報開示として「テーマ別 サステナビリティレポート(自然資本)」を発行しました。各営業店部でも「自然資本」に関する知識を含め、個人トータルソリューション事業のお客さまをはじめとした地域のステークホルダーの皆さまへ積極的に情報発信をしようと、下記の取り組みを進めています。

2021年6月に実施したオンライン社内勉強会は、公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会職員と当社社員を講師に、自然資本の考え方、当グループの取り組み方針、具体的な取り組み事例、信託銀行としてできること等について学ぶ内容で、社員約500名が参加しました。

また、全国の営業店部のロビーでは、本レポートをもと

に作成したオリジナルのポスターを展示し、ご来店いただくお客さまに当グループの取り組みをPRしています。



オンライン社内勉強会



横須賀支店ロビー展



テーマ別 サステナビリティ
レポート(自然資本) [PDF]

ステイホーム おうちで楽しむ! 季節のレシピ

ささみとおくらのねぎ塩レモン



「レモン×ねぎ塩」風味で食欲そそる! たんぱく質と野菜を同時に摂れるヘルシーな一品。爽やかなレモンを添えてさっぱりいただきます。

材料(4人分)

鶏ささみ肉 4本
おくら 15本
★鶏がらスープのもと(顆粒) ... 小さじ2
★ごま油、レモン汁 各大さじ1
★にんにく(チューブ)、黒こしょう 適量
★長ねぎ(みじん切り) ... 15cm分

作り方

鶏ささみ肉は茹でて粗熱をとる。粗熱がとれたら裂き、調味料★と合わせる。おくらは茹でたら1cm幅に切り、鶏ささみと合わせ器に盛り付ける。レモンを飾れば完成。



詳しい作り方は EATPICK をご覧ください▶

メニュー提供: パナソニック株式会社 ※禁無断転載



表紙の
作品解説

次世代が描くSDGs

晃華学園中学校高等学校 「Take off for the future」

三井住友信託銀行コンサルプラザ調布では、2020年より晃華学園中学校高等学校と連携し、SDGsに基づいた取り組みを精力的に展開しています。

同校の「KOKA×SDGs国際映像コンテスト」はSDGs普及啓発のための1分間の動画を制作するもので、企画・構成、撮影、編集はすべて生徒が主体となっており、英語の字幕やナレーションが付けられるなど国際色豊かなプログラムです。

表紙の作品は、今号表紙のために生徒たちが制作した作品です。暗雲立ち込める空を今の世の中と重ね、「SDGsによって生まれた1羽の鳥(希望)が、持続可能な社会の実現のために青空を切り開き、力強く羽ばたいて行く姿」が配色にこだわりながら描かれています。



今号表紙への起用作品について生徒たちが協議

SuMi TRUST With You

2021
With You
REPORT
vol.2

SPECIAL TOPIC

スペシャルトピック

数字が教えてくれる 「人生100年時代」の ライフデザイン

コロナで変わった「おうち時間」
～今こそ自宅で資産形成～

キラリ!サステナビリティ活動

社員が「自然資本」について学び、
普及啓発を推進しています!

ステイホーム おうちで楽しむ! 季節のレシピ

ささみとおくらのねぎ塩レモン



晃華学園中学校高等学校 生徒作品「Take off for the future」

当社のサステナビリティ活動はこちら▶ サステナビリティサイト



支店ブログ



数字が教えてくれる「人生100年時代」のライフデザイン

コロナで変わった「おうち時間」～今こそ自宅で資産形成～

三井住友トラスト・資産のミライ研究所（以下、ミライ研）は、「人生100年時代」における安心・安全な資産の形成／活用を、中立的な立場で調査・研究する目的で三井住友信託銀行内に設置された組織です。

ミライ研では20歳～64歳の1万人への独自アンケート調査を実施しています。アンケート結果を基に皆さまのお役に立つ情報とより豊かな生活に向けたヒントをご提案します。



三井住友トラスト・
資産のミライ研究所 所長
丸岡 知夫

■「おうち時間」と「会社時間」

日本においては2020年初より新型コロナウイルスの感染拡大が始まりましたが、これまで、国民全体での感染拡大防止策への取り組みや、ワクチンの積極的な接種など、コロナ禍を乗り越えていくため行動が続けられています。

そんな中で、大きく変化した生活様式の1つとして、自分のためにつかう時間（本稿では「おうち時間」）の増加があげられます。

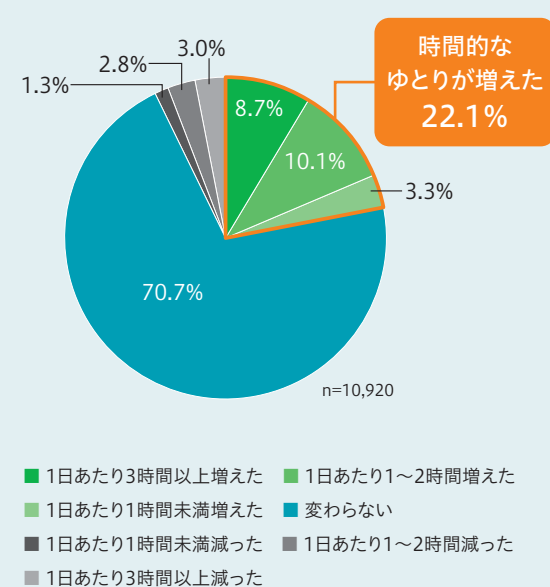
内閣府は、コロナ禍のもとでの生活意識・行動の変化に関する調査を定期的に行っていますが、直近の調査（2021年4～5月実施、回答者数10,128）で「新型コロナの感染拡大前（2019年12月）と比較して労働時間がどう変化したか」を尋ねています。結果は、「労働時間が減少した」との回答が33.4%、「増加した」が12.7%、「あまり変わらない」が53.9%となっており、約3分の1の方が、労働時間（いわゆる「会社時間」）が減ったという意識を持っていることがわかりました。

では、生活面でのゆとりとしての「おうち時間」についてはどうでしょうか。

ミライ研では、今回実施した1万人アンケート調査において、「コロナ禍の前と比べて、時間的なゆとりがどう変化したか」を「1日あたりの平均的な増減時間」という形で尋ねていますが（図表1）、「時間的なゆとりが増えた」という回答が2割強（22.1%）、7割の人は「変わらない」、一方で

「ゆとりが減った」という人が1割弱（7.1%）という結果になりました。「3時間以上増えた」という回答も全体の1割弱（8.7%）ありました。

■ 図表1 コロナ禍による時間的なゆとりの変化（1日あたり）



感染拡大防止の取り組みとして、多くの職場でテレワークの導入・活用が進み、プライベートでも外出自粛や会食機会の回避などで、ゆとりとしての「おうち時間」が増えたことは、新型コロナショックの特徴といえそうです。

■「おうち時間」と資産形成

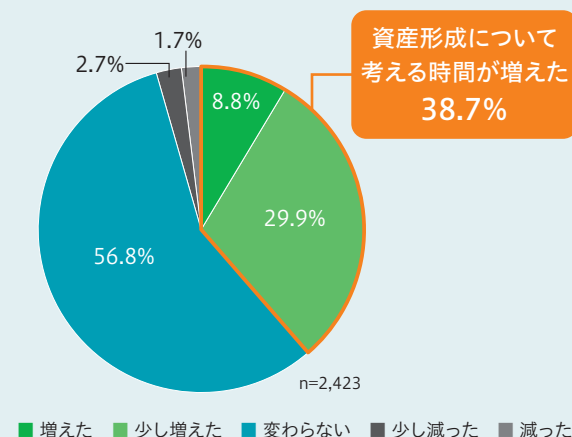
「日常の生活が慌ただしくて」「時間的なゆとりがあれば、家計のお金のことや資産計画についてじっくり考えることができるのに…」という思いを持たれている方も、相当数いらっしゃるのではないかと想像します。

では、今回のコロナ禍で生じた「時間的なゆとり」を資産形成への取り組みに活用されている方はいらっしゃるのでしょうか。

ミライ研の1万人アンケート調査では、「コロナ禍の前と比べて、時間的なゆとりが増えた」と回答した方に対して、「時間的なゆとりが増えたことで、資産形成について考える機会（時間）は、どの程度変わりましたか」と追加で尋ねたところ、約4割が「資産形成について考える機会（時間）が増加」という回答でした（図表2）。

これは、「コロナ禍でのおうち時間が増えた」層（全体の2割）×「増えた時間で資産形成について考えた」層（増えたうちの4割）＝全体の1割弱の方が資産形成へ取り組む時間が持てたことを表しています。

■ 図表2 増えたゆとり時間で資産形成について考える機会（時間）が変化したか



ミライレポートのご案内！

「コロナ禍で増加した時間的なゆとり、資産形成への影響は？」

2021年7月30日に、ミライレポート「コロナ禍で増加した時間的なゆとり、資産形成への影響は？」をリリースしました。コロナ禍における「時間的な変化」「家計行動の変化」「資産形成額の変化」を分析しています。資産形成において、コロナ禍から受けた影響が特に大きかったのは、どの世代だったのでしょうか？

続きはミライ研
Webサイトを
ご覧ください。



■次は「資産形成へアクション」

コロナ禍にあっても「ゆとり時間を活用して、資産形成について考えてみた」層の存在が確認できました。しかし、実際に資産形成へのアクションについてはどうだったのでしょうか。

今回のアンケート調査結果では、資産形成額（年額）についても調査していますが、1年間の資産形成額（平均）は約112万円で、コロナ禍前と比べて年間資産形成額が増えた人は12.4%、減った人は25.1%、変わらない人は62.6%という結果でした。今後、時間的なゆとりの増加や資産形成意識の高まりが「資産形成の加速」に結びついていくものと思われます。

個人にとって身近な資産形成の器であるNISA（少額投資非課税制度）の口座開設数は、2020年以降増加が加速しており、2021年3月末で1,586万口座（2020年3月末1,405万口座から180万口座増加）に達しました。とりわけ、資産形成世代にあたる20歳代～50歳代のつみたてNISAの口座開設の伸びが顕著になっています。投資信託の最低購入額は、足下では銀行窓口が1万円、インターネットバンキングや総合証券が1,000円、ネット証券が100円と、小口化が進展していることも背景になっていると考えられます。

こうした資産形成へのアクションを促す「下地」に、新型コロナショックによる社会的な変化（時間的なゆとりの出現やオンライン化の進展）が重なってきている今、資産形成世代のマインドが「いつか始めたい」「始めなければ」から「今、始められる」に変わってきている兆しを感じられます。

数字が教えてくれる「人生100年時代」のライフデザイン

今後の
連載予定

① コロナ禍における意識・
行動調査
～資産形成と社会貢献活動～

② コロナで変わった
「おうち時間」
～今こそ自宅で資産形成～

③ オンライン社会への急転換
～「デジタル払い」
使う？使わない？～

④ 資産継承のバトンリレー
～親子のコミュニケーションの
変化と「令和の贈与」～